

農作物技術情報 特別号 野生獣対策(1)

発行日 令和7年5月29日

発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ 基本 つかまえる・まもる・よせつけない 3つの基本対策を総合的に！
- ◆ まもる 対象となる獣が圃場や集落に侵入する前に、効果的な柵の設置を！
- ◆ 電気柵 2種類の電気柵、その特徴を理解し、現地の状況に応じて選択を
- ◆ 特効薬無し 光、音、においによる忌避効果は一時的

1 基本

- (1) 令和5年、本県の野生鳥獣による農作物被害額は県全体で、5.2億円。その半分は、ニホンジカによる被害です(2.4億円)。また、近年は、イノシシによる被害も急激に増加しています。
- (2) 野生獣による農作物被害対策の基本は、「個体群管理＝つかまえる」「侵入防止対策＝まもる」「生息環境管理＝よせつけない」の3つの基本的対策を、地域やほ場で総合的に継続実施することです(図1)。

2 まもる＝侵入防止対策

野生獣が圃場や地域に侵入しないよう、電気柵、金網柵、防護柵など、侵入防止施設を設置し、野生獣から、農作物を保護します。

これらの柵は、農作物が実等をつける前に設置し、野生獣が「食料」と認識しないよう、先手を打つことが大切です。

岩手県の農地は面積も大きく、冬季には積雪もあることから、電気柵を用いる場合が多くみられます。

電気柵は、適切な電圧が生じていれば、野生獣が触ったときに電気刺激が発生します。野生獣は痛

みを伴った恐怖を学習するため、電気柵に近づこうと思わなくなり、侵入防止効果が高まります。

一方、電気柵が正しく設置されていない場合や、下草が伸びているなどの理由により、電圧が維持されていない場合には、効果が半分以下となってしまうことも特徴です。

3 電気柵は大きく分けて2種類

(1) 簡易電気柵と恒久電気柵

従来から利用され、冬季間は稼働させず、支柱もワイヤーも撤収する必要があるのが「簡易電気柵」です。プラスチックや樹脂製支柱と、ポリ製ワイヤーにステンレスが織り込まれたものを利用します。

一方、一度設置した支柱とワイヤーは撤収せず、柵を稼働させない冬季間は、地面にワイヤーを下

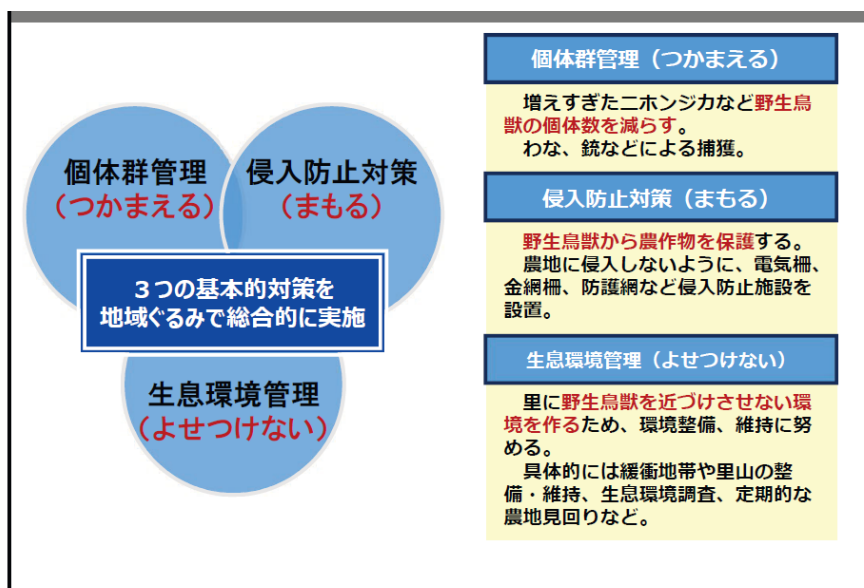


図1 農作物被害対策の基本的な考え方

げて越冬させる、または、果樹園のように冬季間も稼働させたい、といった場合には、雪による漏電対策を実施したうえで、そのまま稼働させることができるのが「恒久電気柵」です。支柱は主に単管パイプ、ワイヤーは「フェンシングワイヤー（高張力鋼線）」と呼ばれる、針金のようなワイヤーを使用します。

毎年、設置と撤収を繰り返さなくても良いだけでなく、ワイヤーの張力も高いことから、長距離での設置に適した方法となります。

電気柵を利用する場合には、これらの特徴を理解したうえで、使用の目的に適した方法を選択してください。

恒久電気柵については、盛岡広域振興局と盛岡農業改良普及センターが、設置のための動画を Youtube の岩手県公式動画チャンネルで公開しております。興味のある方はご覧ください。「岩手県公式 恒久電気柵」で検索できます。



動画検索用二次元コード

表 1 獣種別電気柵の高さ (CM)

	20	40	70	100	130
ツキノワグマ・イノシシ	○	○	○		
ニホンジカ		○	○	○	○



写真 1 恒久電気柵の設置事例（一関市）

(2) 電気柵の適切な管理（チェックポイント）

電気柵の効果を十分に発揮するため、次のポイントを確認し適切な管理に努めてください。

表 2 電気柵の適切な管理のチェックポイント

	チェックポイント	確認欄
1	・電圧は 5,000V～8,000V で通電していますか？ ・作物や雑草、樹木が電線に接触していませんか？→点検と是正 ・アース棒の深さや本数不足 →アース棒は触っても電気を感じないように ・パワーユニットの能力不足 →距離に応じたパワーユニットを使用 ・支柱などによる漏電 →きちんと碍子を使いつつ、点検を ・電線の結び目などでスパーク発生→「パチパチ」と音が聞こえるのは異常	
2	24 時間通電されていますか？（夜間のみ通電は不可です）	
3	ワイヤーの高さは、獣種に応じたものになっていますか？特に最下段（表 1）	
4	（野生獣が侵入したくなるような）地面のくぼみ等是对应しましたか？（支柱の追加）	
5	ワイヤーはどこもピンと張られていますか？（緊張具の利用） （ワイヤーが緩むと、高さが一定ではなくなり、物理的強度も低下します）	
6	斜面から下ってきて、すぐのところに柵は設置されていませんか？	
7	下草刈のタイミングは決まっていますか？	

4 特効薬無し

一般に、野生動物に対し忌避効果があるとされるものがたくさん販売されています。センサー付きの音や光、超音波、さらには、とても臭い粉末や肉食獣の尿などです。

それらを設置・散布した場合、野生獣はそうした環境の変化に対し、最初は警戒しますが、高い学習能力により、それらが本当に命の危険があるかないかを見極め、安全と判断した場合には、再びもとの行動に戻り、圃場や地域に侵入します。

最近、県内でも多く見かける「識別テープ＝ピンクのテープ」も同様の考え方です。これは効果が一時的であるだけでなく、「柵はくぐって通過するもの」と動物が認識してしまうと、電気柵もくぐって通過してしまうなど、地域として、みなさんが連携して取り組むことで、効果的な柵のみが設置されることが重要です。

今回、例示したような簡易なもので、一定期間、防御効果が期待できるものは無いので、前述の電気柵等を設置することを検討してください。

春の農作業安全月間 [4月15日 ~ 6月15日]

「忘れずに！点検・確認・安全管理 無事故で終える収穫作業」

次号は6月26日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用ください。

熱中症防止

- 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等作業時間の工夫を行うこと。水分をこまめに摂取し、汗で失われた水分を十分に補給すること。気温が著しく高くなりやすいハウス等の施設内での作業中については、特に注意。
- 帽子の着用や、汗を発散しやすい服装をすること。作業場所には日よけを設ける等できるだけ日陰で作業するように努めること。
- 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断するとともに、涼しい環境へ避難し、水分や塩分を補給すること。意識がない場合や自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても良くならない場合は、直ちに病院で手当を受けること。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。